

目次

一、発刊にあたって	1
二、山木屋公民館の沿革	3
三、歴代館長の横顔	5
四、山木屋公民館の活動	6
1. 初代 近藤 直人 館長時代	7
・公民館開設	
2. 二代目 紺野 利忠 館長時代	9
・合併後の公民館活動	
3. 三代目 三浦 義位 館長時代	13
・各会、学級の誕生	
・映画会の開催	
・分館委員会資料	
・第1回地区球技大会	
4. 四代目 佐藤 新一 館長時代	16
・改善センター完成	
・改善センターでの結婚式	
5. 五代目 菅野 政次 館長時代	18
・球技大会全盛期	
・山木屋地区大運動会	
・第1回川俣町スピードスケート大会	
・わら細工教室	
・料理教室	
・分館まつり	
・山木屋地区敬老会	
・昔の道具（文化祭）	
・委員写真	
6. 六代目 大内 佐市 館長時代	24
・第30回記念秋季球技大会	
7. 七代目 菅野 栄太郎 館長時代	27
・さなぶりまつり	
・すずらん文化祭	
・山木屋地区敬老会	
・山木屋地区大運動会	
・新春のつどい	
・稲作体験	
・星空観察会	
・こどもの居場所事業	
・放課後こども教室	
・ちびっこの時間	
・高太石山 山開き	
・講演会、勉強会	
・やまきや未来塾	
・太極拳	
・すずらん愛唱会	
・しめ縄、わら細工	
・木工教室	
・襖絵	
・野仏	
・医食農講座	
・陶芸	
・ウォーキング	
・ハイキング	
8. 八代目 廣野 隆俊 館長時代	42
・ウォーキング	
・ハイキング	
・第29回すずらん文化祭	
・写真展	
・山木屋作品展	
・タブレット・スマホ教室	
・自分史づくり	
・世代間交流	
・スポーツウエルネス吹矢	
・グラウンドゴルフ	
・卓球	
・そば打ち体験	
・出版物一覧	
五、おわりに	55
・編集後記	
・ご協力頂いた方々	
・参考・引用資料	

「山木屋公民館のあゆみ」発刊にあたって

山木屋公民館 館長 廣野 隆俊

戦後まもなく社会が少しずつ安定に向かう中で、生涯学習の拠点となりうる公的機関として「公民館」が全国各行政に設置された。

山木屋では、昭和二十三年『安達郡山木屋村公民館』として山木屋村役場に置かれたとの事です。

その後、昭和の大合併に伴い、昭和三十年に『川俣町公民館山木屋分館』と名称を変えました。

さらに、平成四年に地区公民館を中心とした社会教育を充実するため、分館から地区館とする「川俣町公民館条例」が制定され、『川俣町山木屋公民館』として現在に至ります。

歴代の館長は、地域の多くの役割を担い、太い人脈と経験を活かし、公民館活動を行ってきたということ、今回の調査で知る事が出来ました。

しかし、昭和三十五年以前、紺野利忠館長当時の活動内容を調査する事は困難でありました。ですが、中学校よりお借りした資料を調べているうちに、初代館長・近藤直人氏のお名前が記されていて、初代、現在までの館長を知る事がで

きました。また、昭和三十五年以降、三浦義位館長になってからの記憶を思い起こしてくださった方々もおり、少しずつ知る事ができました。

昭和三十七年、三十八年頃、公民館、婦人会、青年会などで小中学校の運動会に協力、参加し、その後、山木屋体育振興会が結成され、運動会、ソフトボール、バレーボールなど、体育振興会が中心となって進められ、部落毎にチームを作り、とても活気にあふれていました。

また、様々な公民館活動を実施し、公民館と自治会、各種団体、有志等で実行委員会を結成して「さなぶりまつり」や、「夏祭り」、「すずらん文化祭」を継続して開催してまいりました。

しかし、平成二十三年三月十一日の震災、東京電力福島第一原子力発電所の爆発により、山木屋全地区民が避難を余儀なくされ、公民館活動も中断となり一時は大変心配されていきました。が、幸い川俣町内の農村広場、町体育館にまとまった仮設住宅が造られ、多くの住民が仮設住宅に住むことができました。そこを拠点に集会、健康維持と体力増強の為に活動を始めました。また、大会などは、福沢グラウンド、福沢多目的集会所、町体育館、鶴沢公民館と、会場を転々と移して開催し、それぞれの地区の皆様が大変お世話になりました。

六年後、避難解除されたものの山木屋に戻った人は少な

く、また集まる場所もなく、その後一年間は大変苦勞の連続でありました。避難解除から一年余り後に山木屋公民館（旧川俣町生活改善センター）も使用可能となり、本格的に活動ができるようになりました。

しかし現状は厳しく、活動を共にし、大変お世話になっていた山木屋体育協会や、山木屋地区青少年育成協議会、戦前から続いていた婦人会も休会となってしまいました。が、公的機関である公民館は、人口が減っていく中であっても活動を続けてきました。今後も仲間同士が互いに励まし合いながら活動を続けていきます。

この「山木屋公民館のあゆみ」作成にあたり、お寄せいただいた写真や貴重な資料、そしてご意見、ご協力いただいた地域の皆様に、心からお礼と感謝を申し上げます。いつしか山木屋の大きな歴史を作る時に、この「公民館のあゆみ」が少しでも役に立てればと思います。

最後に、公民館は生涯学習の場として、誰でも気軽に「つどい」、「まなび」、人と人を「むすぶ」ところであります。避難後、住民は散り散りとなってしまうましたが、山木屋地区自治会と協力し合い、新しい山木屋を目指し活動してまいりますので、尚一層の地域の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。あいさつと致します。



二、山木屋公民館の沿革

年	沿革 (○印 周辺補足)	館長・副館長	主事	運営委員等
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> ○地方自治法制定 「安達郡山木屋村公民館」を独立設置(字神武山一番地) 館長は村長が兼任、主事は職員が兼任(字大清水) ○社会教育法制定 	昭和23年 館長 近藤直人 <small>(村長兼職)</small>	職員兼務 学校教頭、職員等	P T A会長 青年連盟会長 農協青年会長 青少年補導会 消防団長 社会教育協会 議員、農協、 校長
昭和24年	<ul style="list-style-type: none"> ○1町7村が合併し、新川俣町が誕生 ○川俣町公民館条例が制定 	昭和30年 分館長 紺野利忠 <small>(七区)</small>		
昭和29年	<ul style="list-style-type: none"> 旧川俣町公民館が本館に、旧村公民館がそれぞれ分館となり、各分館には非常勤の分館長と職員兼任または非常勤の分館主事1名配置「川俣町公民館山木屋分館」 	昭和30年 分館長 紺野利忠 <small>(七区)</small>		
昭和32年	<ul style="list-style-type: none"> 分館活動が盛んになり、分館長の諮問機関として、委員10名による分館委員会を各分館に設置 	昭和35年 分館長 三浦義位 <small>(甲二区)</small>		
昭和33年	<ul style="list-style-type: none"> 山木屋小学校新築、旧校舎に公民館移転(字我下山三番地) 	昭和45年 分館長 佐藤新一 <small>(甲八区)</small>		
昭和36年	<ul style="list-style-type: none"> 町上水道施設、役場庁舎建設に多額の予算が計上され、公民館費が前年の50%に削減。分館委員も5名に半減 	昭和59年頃 菅野克朗		
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> ○山木屋支所が出張所となる 	昭和59年頃 菅野克朗		
昭和39年	<ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピック 開催 	昭和55年頃 菅野富子		
昭和50年	<ul style="list-style-type: none"> 生活改善センター完成、公民館移転(字小塚五番地) 	昭和55年頃 菅野富子		
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ○山木屋幼稚園開園 	昭和61年 分館長 菅野政次 <small>(四区)</small>	昭和59年頃 菅野克朗 昭和61年～63年 大内國広	<ul style="list-style-type: none"> 渡邊直一 田神政光 広野隆俊 教頭先生

※昭和の主事・運営委員資料が見つからず、委員氏名、年数は不詳
左記4名はS59主事所有の写真より判明

平成4年	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の公民館を中心とした社会教育を充実するために川俣町公民館条例改正 ・分館から地区館となる。「川俣町山木屋公民館」 ・運営委員10名となる。 	平成4年	佐藤覚雄	平成元年～3年	鳴原岩男 21 菅野キク 2 遠藤貴美子 4 菅野栄太郎 10 大内美智子 7 菅野トミ子 11 菅野キクエ 11 菅野新一 11 菅野得良 12 大内啓子 12 遠藤八枝 12 氏家豊 2 菅野好広 5 本田勝信 5 高橋正春 2 渡辺信二 5 竹田敏男 3 竹田彦巳 2 渡辺彦巳 2 学校教頭、学校校長 (平成13年度まで)
平成7年	<ul style="list-style-type: none"> ○ふくしま国体 	平成7年	大内佐市 (六区)	平成4年～7年	紺野正壽
平成8年	<ul style="list-style-type: none"> ○山木屋小学校竣工(字小塚山九番地の一) 	平成8年	菅野栄太郎 (六区)	平成8年～15年	遠藤恵美
平成14年	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の配置がなくなる。 	平成16年	米倉啓示 (五区)	平成16年	佐藤国清 (職員兼職) 佐藤喜久子 (職員兼職)
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ・地区館に副館長を配置する。 	平成22年	廣野隆俊 (乙二区)	平成17年～19年	高橋靖 (職員兼職)
平成23年	<ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災 福島第一原発爆発 全地区民避難 ・5月 山木屋公民館自主閉鎖 ・7月 農村広場仮設住宅を拠点に公民館活動開始 	副館長	菅野典保 (五区)	平成17年～現在	吉村弘子
平成29年	<ul style="list-style-type: none"> ○避難指示解除 	副館長	廣野典保 (五区)	平成20年～25年	広野孝光 (職員兼職)
平成30年	<ul style="list-style-type: none"> ・川俣町生活改善センターを山木屋公民館として活動再開 	平成31年	副館長 広野太 (甲二区)		
令和2年	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス蔓延 4月全国に緊急事態宣言 ○東京オリンピック 令和3年に延期 ・夏祭り、敬老会、中止 				
令和3年	<ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピック 無観客で開催 				

三、歴代館長の横顔

四代目	三代目	二代目	初代
 <p>佐藤 新一</p> <p>昭和45年 ~ 昭和58年</p> <p>山木屋農青連 委員長 福島県農青連 幹事長 川俣町農業委員 川俣町議会議員 山木屋体育振興会 会長 川俣飯野農業協同組合 組合長 山木屋幼稚園・小学校改築期成同盟会長 川俣町公民館山木屋分館 分館長</p>	 <p>三浦 義位</p> <p>昭和35年 ~ 昭和44年</p> <p>川俣町消防団 副団長 川俣町消防団 第十分団長 川俣町議会議員 福島葉たばこ耕作組合 組合長 川俣町文化財審議委員長 真福寺護持会 会長 川俣町公民館山木屋分館 分館長</p>	 <p>紺野 利忠</p> <p>昭和30年 ~ 昭和34年</p> <p>安達郡山木屋村 収入役 安達郡山木屋小中学校 PTA会長 川俣町公民館山木屋分館 分館長</p>	 <p>近藤 直人</p> <p>昭和23年 ~ 昭和29年</p> <p>安達郡山木屋村 村長 安達郡山木屋公民館長 館長(村長兼務)</p>
八代目	七代目	六代目	五代目
 <p>廣野 隆俊</p> <p>平成22年 ~ 現在</p> <p>山木屋青年会 会長 川俣町農業委員 山木屋葉たばこ協議会 会長 山木屋葉たばこ育苗組合 組合長 山木屋地区自治会 会長 山木屋環境保全協議会 会長 川俣町公民館連絡協議会 副会長 川俣町山木屋公民館 館長</p>	 <p>菅野 栄太郎</p> <p>平成8年 ~ 平成21年</p> <p>山木屋診療後援会 会長 山木屋地区自治会 会長 川俣町山木屋公民館 館長</p>	 <p>大内 佐市</p> <p>平成7年</p> <p>川俣町消防団 第十分団長 川俣町山木屋公民館 館長</p>	 <p>菅野 政次</p> <p>昭和59年 ~ 平成6年</p> <p>川俣町農業委員 川俣町議会議員 川俣町自衛隊家族会 会長 川俣町交通安全協会 山木屋支部会長 川俣町葉たばこ振興協議会 会長 山木屋葉たばこ協議会 会長 山木屋地区青少年育成協議会 会長 国道114号線整備促進協議会 会長 川俣町公民館山木屋分館 分館長</p>

四、山木屋公民館の活動

1. 初代 近藤 直人 館長時代

(昭和23年～昭和29年)

「川俣町史 第二巻」より抜粋

第一章 戦後から合併までの川俣

947頁

五 公民館の活動

戦後の新しい理念に基づく町村作りも、少しずつ安定に向うにつれて始まった。昭和二十二年五月福田村公民館を学校に開設するに始まり、昭和二十四年までに役場・学校に併設され、山木屋村は独立館を二十三年八月に設置した。

昭和二十四年には公民館が法的に位置づけられ、本格的な活動を進めるようになったことは、社会教育からの町村作りが軌道に乗ったといえる。当時は新鮮味もあり、町村に多くの青年もいたので活発な活動が展開された。

特に各町村の青年学級は、文部省が二十五年に青年学級振興法の施行から公民館運営の中で位置づけられ、勤労青年の学習意欲を湧かせた。

「山木屋百年史」より抜粋

第四章・四、山木屋の社会教育

95頁

2、戦後の社会教育と公民館

「神武山一番地の独立館」とあり、公民館設立委員会を村会議員・青年・壮年層より三十二名をあげて協議し、「山木屋村公民館条例」を作成し、教養部・産業部・保健部・図書部・社会部の五部長を用意している。

「信夫管内公民館調査一覧表」には、「館長近藤直人(村長兼務) 予算四万円 独立館」となっている。

役場に事務をおき、集会行事は中学校を使用していた。名のみの青空公民館というのが実態であった。

人気に投じた事業として、○農事講習会 ○兎毛皮鞣講習会 ○報徳講習会

なお公民館委員十一名は、PTA会長(三浦徳次郎)青年連盟(渡辺市郎)農協青年会長(山崎節夫)青少年補導会・消防団長(高橋登)社会教育協会(嶋原栄)他に議員・農協・校長の名があがっている。

.....
山木屋村成人式は昭和二十五年一月十五日山木屋小学校で開催した。参加者男二四名、女二〇人で、成人証書を授与し、健康診断と弁論大会、卓球大会を催している。

.....
山木屋の成人学級・婦人学級は昭和二十三年八月から小学校で合同学級を開いている。

.....
青年学級は、昭和二十四年から開設された。定期講座に青年学級と成人講座がある。青年学級は三八日間一二二時間

.....
昭和二十六年.....八月二十八日家畜市場で、NHK映画の夕を開催・世界の音楽・NHKアルバム・松竹映画「とんぼ返り道中」（美空ひばり主演）が興行された。

七月十四日には、はじめてナトコ※映画会が家畜市場で開かれ、生活水準向上の鍵、会議の進め方、三匹の子猫などが上映された。

※ナトコ 映写機の名前。占領軍の総司令部（GHQ）が日本人に向けた民主化政策の一環としてナトコ映写機を全国的に配備し、各地で巡回映画会が催されました。1952年（S27）までの5年間で400本ほどの16ミリ映画を配給したとのこと

「青年学級振興法」の目的は、勤労青年教育が日本の産業の振興に寄与し、且つ、民主的で文化的な国家を建設するための基盤をなすものであることにかんがみ、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、青年学級の開設及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国家及び社会の有為な形成者の育成に寄与することであつた（同法第1条）。

.....生涯学習研究 e 事典・青年学級の歴史 坂本登氏 より抜粋
青年学級とは勤労青年のための学習機会ということになるが、そのためにいくつかの要件が求められた。

一つは、社会教育の本旨に沿って、学習者のニーズの尊重と主体的な参画を求めたことである、勤労青年15人以上のニーズがまともれば、開設申請（同法第6条）することが可能とされた。

二つ目は、開設主体を市町村とし、実施機関を教育機関としたことである。青年学級は、教育の機会均等の考え方から、開設の場所を広域的なものにせず、青年の居住地である市町村とし、これを開設する市町村が設置する教育機関（公民館または学校）の教育事業として実施すること（同法第5条）を原則とした。

三つ目は、国庫補助を受ける場合の青年学級の具備要件である。要件としては、「学級生が30人以上」、「開設期間が1年以上」、「学習時間が年間100時間以上」、「学習が継続的に行われること」（同法第18条）などに加え、大学等に2年間以上在籍し62単位以上取得した者や教育職員の免許や社会教育主事等の専門的な資格を有する「青年学級主事」、「青年学級講師（補佐）」を配置すること、などが挙げられた。これらに加え、青年学級振興法という単独法を有していたことなどから、青年学級には、教育事業でありながらも教育機関としての性格が強く期待されていた。.....

その後、高校への進学率の高まりや、他の学習機会の増加により、青年学級はその役割を終え、1999（平成11年）7月16日法律第87号により青年学級振興法は廃止となり、この法制度は無くなった。

2. 二代 紺野 利忠 館長時代

(昭和30年～昭和34年)

「山木屋百年史」より抜粋

第四章・四、山木屋の社会教育

97頁

3、合併後の社会教育

昭和三十年三月 町村合併の実施により山木屋村は川俣に合併し、社会教育関係にも大きな変動があった。先ず公民館は川俣町山木屋分館となり、紺野利忠が分館長に任命された。

成人式は、合併前は各村単位に行われていたが、昭和三十一年一月十五日にはじめて川俣町第一回成人式が、川俣中学校体育館で行われ、総数四五八名の中に、山木屋四十六名(男二六女二〇)が参加した。

同年(昭和三十一年)五月には、公民館分館が婦人会、青年団、農協と共に元福大学長西沢喜洋芽をよんで講習会を開いている。

昭和三十二年小学校が問屋前に新築移転すると、昭和三年に建築した旧校舎一棟を残し、一部を役場出張所(当時支所)とし、三教室を持って山木屋分館として、はじめて独立公民館の看板をかかげたが、内部や諸設備は不備のままであり、県立図書館の巡回文庫があるのみであった。

昭和三十四年度公民館予算各分館割当表

昭和34年度公民館予算各分館割当表

館名	館費	館手当	振替費	旅費	消耗品	修繕費	倉庫費	印刷費	光熱費
本館	164000	1500	185500	29000	49000	50000	55000	132000	39000
畷田分館			67000		9000	19500	5000	6000	
橋田			37000		7000	6500	4000	2000	
小宮			37000		6000	6500	4000	2000	
後坂			37000		6000	6500	4000	2000	
大桐木			37000		6000	6500	4000	2000	
小桐木			37000		6000	6500	4000	2000	
山木屋			37000		6000	6500	4000	2000	
計	164000	1500	474600	29000	95000	108500	84000	150000	39000

館名	館費	借料及送料	手数料	委託料	修繕料	備品費	寄附料	振替手数料	その他補助	計
本館	8500	5000	5000	1000	14000	105000	30000	111000	189400	1174000
畷田分館		1000				20000				127500
橋田		1000			2000	15000				74500
小宮		1000				15000				71500
後坂		1000			2000	15000				73500
大桐木	4500	1000			2000	15000				78000
小桐木		1000				15000				71500
山木屋		1000				15000				71500
計	13000	12000	5000	1000	20000	215000	30000	111000	189400	1742000

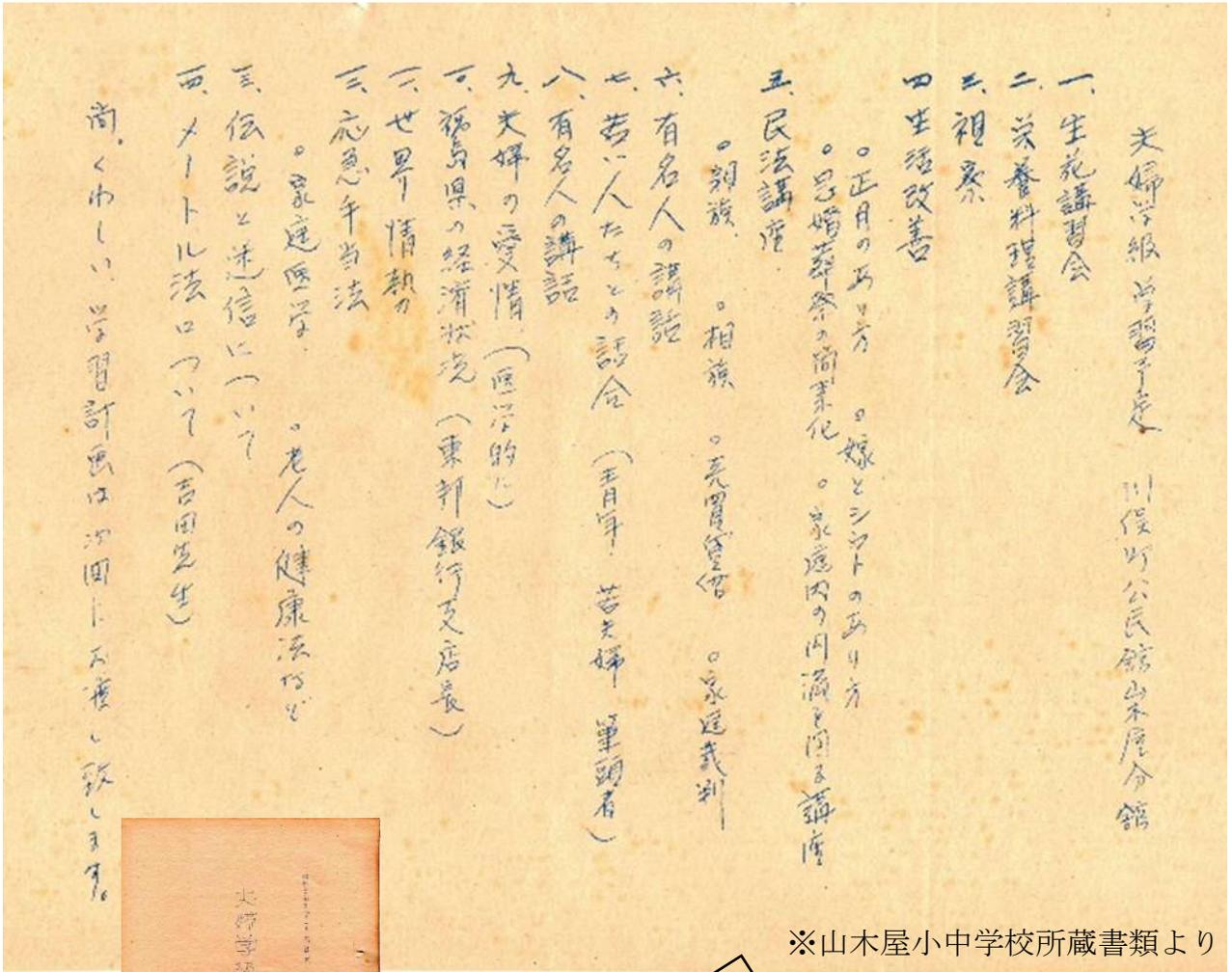
以下の補注。各館色紙は各館に。11月開館外は別冊。館費、支分、已済、未済、取立、向金、田圃、畑、山、川、(元名簿)

※山木屋小中学校所蔵書類より

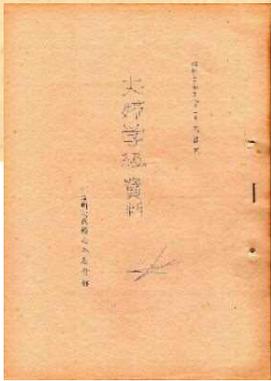
昭和三十四年度山木屋分館年間授業計画

9月	8月	7月	6月	5月	4月	分館計画	昭和三十四年度山木屋分館年間授業計画 青年学級は疎興法に基き一と。時間授業計画による
小中連誦会参加(婦人若妻)	村屋講習会(婦人若妻)	前主婦協会(婦人) 主花講習会(若妻)	婦人学級のあり方 婦人学級のあり方 婦人学級のあり方	青年学級開講式 婦人 若妻	分館年度計画立案	分館計画	
青年会 主事会 音楽系	分館長主事会 スポーツ係 既習講習会 既習講習会	運書協会 主事会 キャンプ指導員講習会	分館長主事会 婦人指導員講習会 定款承認・前主婦協会	運書協会 既習講習会	分館長主事会	本館計画	
3月	2月	1月	12月	11月	10月	分館計画	
青年学級終了式 各学級終了式	健康法講習会(天婦) 児童講習会(婦人) 作業技術講習会(婦人) 各学級終了式	女子小隊(若妻) 料理講習会(婦人) 定款承認(若妻) 新年度(天婦) 経済講習(天婦)	教育講座(若妻) 婦人講習会(婦人) 既習講習会(婦人) 既習講習会(婦人)	文化学参加 社会見学(夫婦)	歌友会(若妻)	分館計画	
運書協会 主事会 各学級終了式	分館長主事会 巡回互談会	運書協会 主事会 天婦 奉迎大会	分館長主事会	文化系(若妻)会 運動会(若妻)会	分館長主事会 定款承認講習会	本館計画	

※山木屋小中学校所蔵書類より



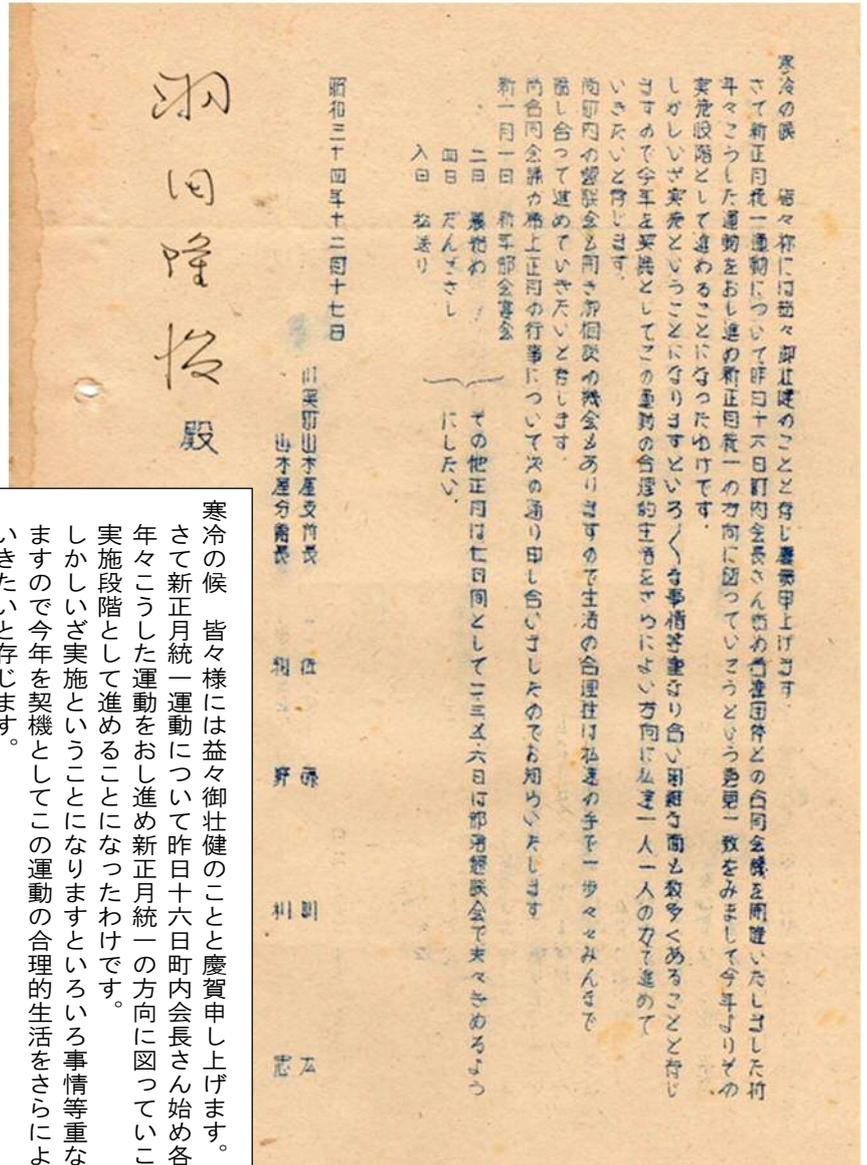
※山木屋小中学校所蔵書類より



- 夫婦学級 学習予定 川俣町公民館山木屋分館
- 一、生花講習会
 - 二、栄養料理講習会
 - 三、視察
 - 四、生活改善
 - ・正月のあり方
 - ・嫁シウトのあり方
 - 五、民法講座
 - ・冠婚葬祭の簡素化
 - ・家庭内の円満を図る講座
 - 六、民法講座
 - ・親族
 - ・相続
 - ・売買貸借
 - ・家庭裁判
 - 七、有名人の講話
 - 八、若い人たちの話合 (青年 若夫婦 筆頭者)
 - 九、有名人の講話
 - 十、夫婦の愛情 (医学的に)
 - ・福島県の経済状況 (東邦銀行支店長)
 - 一〇、世界情勢
 - 一一、応急手当法
 - ・老人の健康法など
 - 一二、伝説と迷信について
 - ・家庭医学
 - 一三、メイトル法について (吉田先生)
- 尚、詳しい学習計画は、次回にお渡し致します。

(聞き取り)
 「婦人講座」を開設し、紺野館長さんは常に出席し、婦人の皆様の知識を高めるために一人でも多くの参加をお願いしたいと、挨拶されていた。

山木屋支所長、分館長から、
学校長に宛てた文書



※山木屋小中学校所蔵書類より

寒冷の候 皆様には益々御壮健のことと慶賀申し上げます。
さて新月統一運動について昨日十六日町内会長さん始め各種団体との合同会議を開催いたしました折
年々こうした運動をおし進め新月統一の方向に図つていこうという意見一致をみまして今年よりその
実施段階として進めることになったわけです。
しかしいざ実施ということになりますといういろいろ事情等重なり合い困難な面も数多くあることと存じ
ますので今年を契機としてこの運動の合理的生活をさらにより方向に私達一人一人の力で進めて
いきたいと存じます。
尚町内の懇親会も開きご相談の機会もありますので生活の合理性は私達の手で一歩々々みんな
話し合つて進めていきたいと存じます。
尚合同会議の席上正月の行事について次の通り申し合いましたのでお知らせいたします。
新一年一日 新年部会宴会
二日 農始め
四日 だんごさし
八日 松送り
その他正月は七日間として二、三、五、六日は部落懇談会で夫々きめるよう
にしたい。

昭和三十四年十二月十七日

川俣町山木屋支所長 佐藤利忠
山木屋分館長 紺野利忠

羽田隆治 殿

3. 三代 三浦 義位 館長時代

(昭和35年～昭和44年)

「山木屋百年史」より抜粋

第四章・四、山木屋の社会教育

3、合併後の社会教育

98頁

.....

我下山の公民館分館は昭和二十七年（おそらく三十五年の間違い？）から三浦義位が館長、中学校諏訪教頭が分館主事となり、成人・婦人・青年学級それに若妻学級が秋に誕生した。傘下の団体には、婦人会・青年会の外農協婦人部・同青年部、4Hクラブ※が参加した。

川俣高等学校山木屋分室は、短参課程から、季節課程と変り、公民館分館で実施することとなり、川俣町では一二万円を追加計上し、南端の教室を改造し三六名を収容した。川高分室は昭和四二年まで続いた。

※4Hクラブ 4Hとは、Head(頭)・Heart(心)・Hands(手)・Health(健康)の4つの頭文字

「青少年クラブ」と名付けているところも多い。

○映画会の開催 昭和36年～37年頃

(聞き取り)

三浦義位分館長宅の座敷を開放して、巡回映画会が開催された。

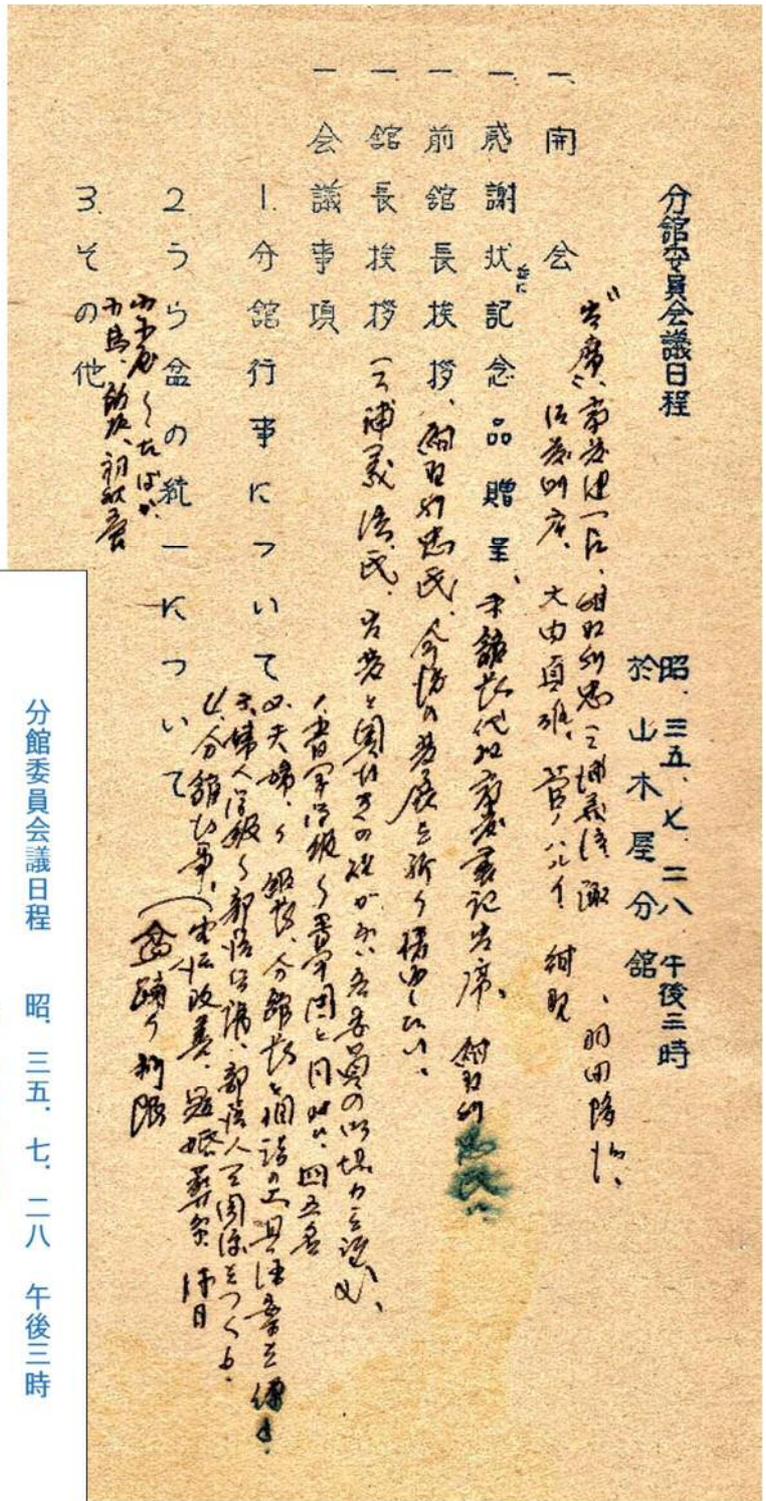
上映は、日本の古い説話「安寿と厨子王」姉弟の物語であった。

人買いにさらわれた安寿と厨子王が山椒大夫に売られ、身体に焼印されるなど悲運な物語。

三浦義位分館長の孫、三浦舟一さんや、廣野隆俊館長は、六十年余り過ぎた今でも覚えてる。



○昭和三十五年
分館委員会 資料



分館委員会議日程 昭 三五 七 二八 午後三時
於 山木屋分館

一、開会 出席 齋藤健一郎、紺野利忠、三浦義位、*、羽田隆浩、佐藤則広、大内貞雄、菅野ハルイ、紺野

一、感謝状並びに記念品贈呈 本館長代理齋藤書記出席 紺野利忠氏に

一、前館長挨拶 紺野利忠氏、今後の発展を祈り精励したい。

一、館長挨拶 三浦義位氏 出席と***各委員の御協力を望む

一、会議事項 1. 書字学級 青年団と同時に 四五名
2. 夫婦 級長分館長と相談の具体案を編集
3. 婦人学級 部落会議、部落人間関係をつくる
4. 分館行事 生活改善、冠婚葬祭、休日
盆踊り制限

2. うら盆の統一について

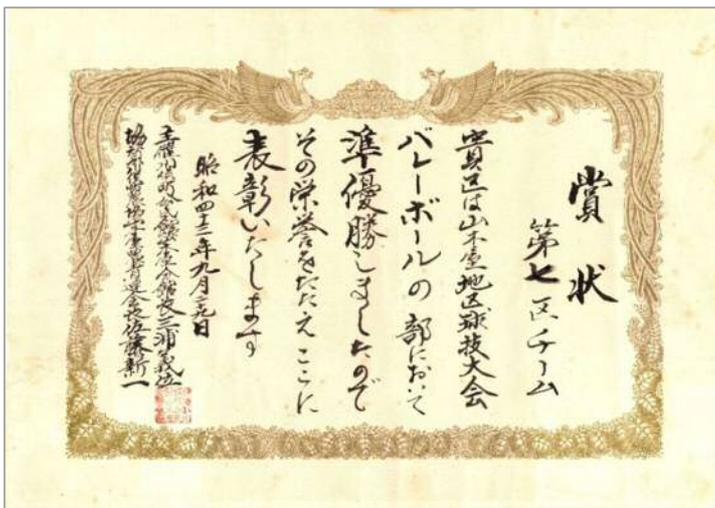
3. その他

この頃から冠婚葬祭のあり方について議題に上げ検討を始めていることが分かる。

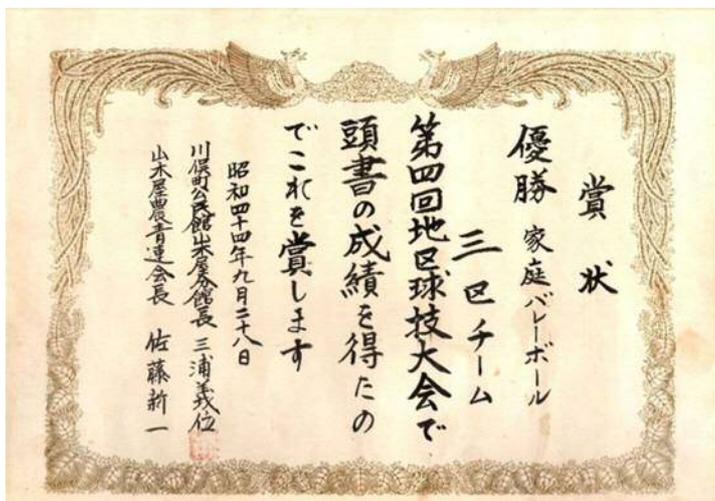
第1回大会 昭和41年10月10日

主催 川俣町公民館山木屋分館（分館長 三浦義位）
 共催 川俣町農協山木屋農青連（会長 佐藤新一）

ソフトボール優勝 4区・5区混合チーム
 バレーボール優勝 6区チーム



上 第3回大会 バレーボール準優勝の賞状
 下 第4回大会 バレーボール優勝の賞状



三浦館長発案で開始された地区球技大会は、のちに山木屋体育振興会に引き継がれ、震災前の平成22年までの44年間、毎年開催される。

下 7区地区内にバレーボールコートをつ造った記念に、三浦分館長が訪れネットの提供と、お祝いの挨拶をした。この頃、各地区にバレーボール練習場が造られ、大会に向けて練習をしていた。分館長の右脇、整列者の後ろに立っているのが、バレーボールネットの支柱。（聞き取り）



4、四代目 佐藤 新一 館長時代

昭和45年度～昭和58年度

昭和50年生活改善センターが完成した。

新しい改善センターで結婚式を挙げたり、葬儀を行うことがあった。旧来の家で行う結婚式や、葬儀は、人的物的な負担が大きく、冠婚葬祭の簡素化に向けた取り組みが課題に上がっていた。

一番目に改善センターで挙式する予定だったカップルは、未完成で使用できず、予定を変更し新郎宅で挙げることになったそうだ。その頃の道路は未舗装な上に悪路で車が坂を登れず、花嫁はトラクターに乗って嫁入りしたとのことだ。

その後、3組が改善センターで挙式したのちに、川俣の農協(旧ボーリング場)や川俣ホテルに宴会場が設けられ、そちらで挙式・披露宴を行うカップルも増えたそうだ。(聞き取り)

その15年前、昭和35年に山木屋農協婦人部で、地区内から寄付を募って花嫁衣裳を準備した記録「花嫁衣裳披露寄付名簿」がある。それには、花嫁衣裳一式2組代金92,195円、寄付金額 現金 11,450円、玄米 6石9斗1升 64,350円、白米 1石9升5合 10,950円、演芸大会収入 5,445円 合計92,195円とある。(資料)

何組がこの花嫁衣裳を着たのか、今この花嫁衣裳がどこにあるのか不詳だが、地域の皆で作った衣装で結婚式をするというのは、皆に祝ってもらっているという感じがして良いなあとと思う。

明細書

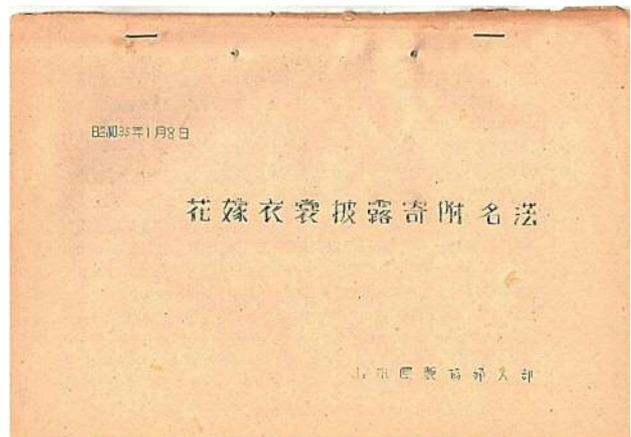
品名	数量	単価	金額	品名	数量	単価	金額
襦袢	2	24,800	49,600	赤い	2	1300	2,600
白丁着	2	5,300	10,600	半	2	180	375
紅紋羽二重	2	3,450	6,900	半	2	270	540
上着羽織	2	1,500	3,000	箱	2	530	1,060
下着	2	1,100	2,200	未	2	400	800
紅襟羽織	2	2,200	4,400	半	2	175	350
丸	2	5,000	10,000	山田			5,695
半	2	450	900	中合			8,650
上	2	250	500	計			92,195
上代一式	2	3,400	6,800				
合計			93,520	割引			1,325

区別	現金	白米	玄米	人数	金額
川俣町	1,000	43	3	17	花嫁衣裳一式2組代金92,195
甲一	100	74	25	26	寄附金額
乙一	200	77	5	25	現金 11,450
丙一	300	53	85	21	玄米 6石9斗1升 64,350
丁一	1,200	77	17.5	30	白米 1石9升5合 10,950
戊一	1,400	57	24	23	演芸大会収入 5,445
己一	3,500	106	2	51	計 92,195
庚一	1,550	50	17	29	
甲八	1,100	48		28	
乙八	200	44	2	21	
丙九	800	62	5.5	28	
合計	11,450	691	109.5	300	

明細書

葬祭についても簡素化を進めようとしていたそうだ。町での取り組みで、香典の引き物は無しにして、御礼のハガキで済ますことにしたが、地区外の反発あったり、親戚から説明を求められたりして、対応が大変になり、簡素化は進まなかったそうだ。(聞き取り)

今では、結婚式もお葬式も個人主義が優先されて、やるやらないのところから多様化されている。多様化の中に、「昔に戻る」という選択肢が入ってくるとこともあるかもしれない。し、ないかもしれない。



昭和35年1月8日「花嫁衣裳披露寄附名簿」
山木屋農協婦人部

○改善センターでの結婚式



上・昭和50年11月23日
花嫁宅で挙式、披露宴ののち、改善センターで披露宴（紺野希予司・まり子夫妻）

下・昭和52年10月10日
和室で挙式、ホールで披露宴 お色直しでドレス披露（大内孝雄・まり子夫妻）



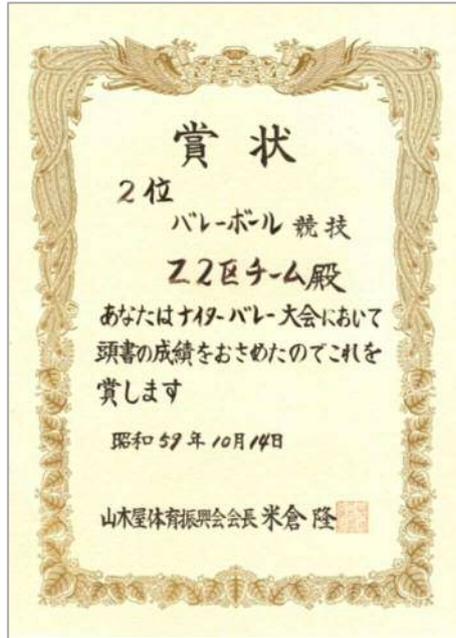
左に改善センターの看板が見える。
今も変わらない窓枠、雨どい、パイプいすも確認できる。



5、五代目 菅野 政次 館長時代

昭和59年度～平成6年度

三浦義位館長時代に始まった球技大会は、その後、山木屋体育振興会が立ち上がり受け継いだ。この頃は山木屋でスポーツ大会が盛んに行われていた。



右上 ナイターバレーボール大会 2位の賞状（昭和59年）
 左上 この頃、各地区でユニフォームを新調し、団結力を高めていた。
 勝つことよりも、参加する事に意義があるということで誘い合い、人数を
 確保して2チーム参加したこともある。（聞き取り）

昭和50年後半から60年前半にかけて球技大会は春、秋のソフト、バレー大会そしてナイターバレー大会、お盆には12時間マラソンソフトボール大会と、地区内大人のスポーツ全盛期でした。



12時間マラソンソフトボール大会（昭和61年8月15日） 番組DVDより

○山木屋地区大運動会



スケート場オープンセレモニー

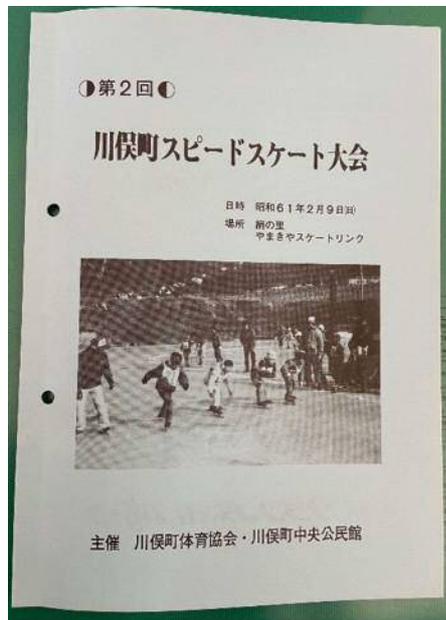


大会の様子



左 第2回大会の交通整理

交通安全協会・指導隊の皆さんに周辺の交通整理等をおねがいがした。(聞き取り)



上 第2回大会の資料

第1回の資料は未確認だが、表紙の写真は、第1回目のもつとみられる。第2回大会時 山木屋分館は大会副委員長となっている。

○第一回川俣町スピードスケート大会

昭和60年2月17日
主催 スケートクラブ、公民館山木屋分館、中央公民館
小中学生 95名 参加



○料理教室



○わら細工教室



昭和59年 生活改善センター



山木屋分館まつり S 61. 12. 22

昭和61年 生活改善センター

○山木屋地区敬老会

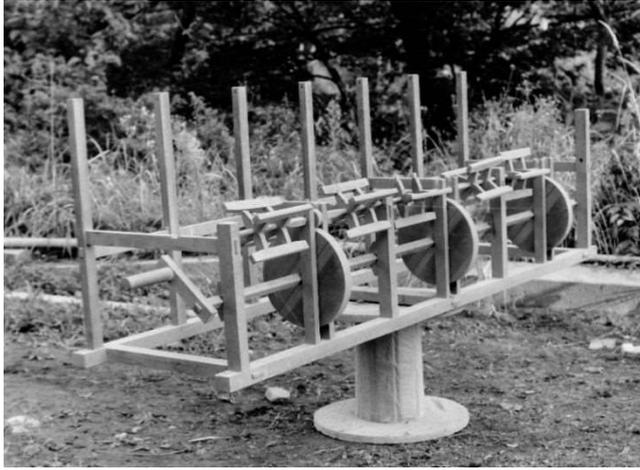
(昭和59年)



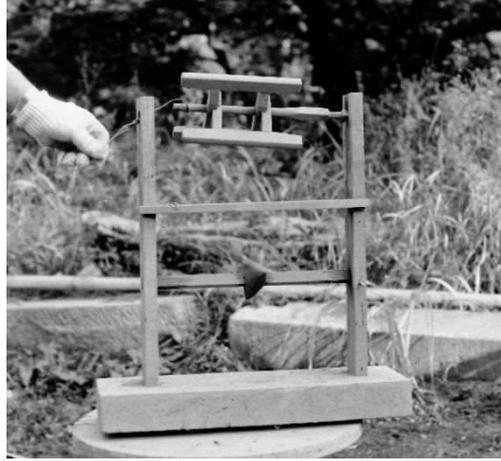
昭和59年 生活改善センター
和室に机を並べて開催しました。
各部落から役員を出してもらって準備
しました。
白の割烹着は、婦人会の正装です。
小学生の合唱や、はら踊りなどで楽しい時
間を過ごしました。

○昔の道具

文化祭時 どれも大きくて改善センターに持ち込めないのので、写真を展示した。
 (7区 高屋敷 菅野政雄様宅で撮影)



糸くり機



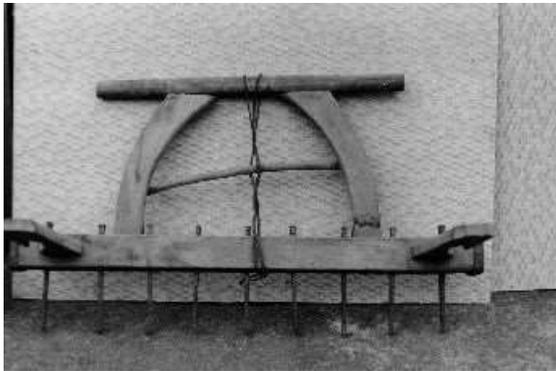
糸くり機



土づる (もみすり)



荷ぐら



まんが (まぐわ)



田植え定規



千羽こき



米選機 (千石どおし)



渡邊直一委員 菅野克朗主事 田神正光委員
 小学校教頭 菅野政次分館長 廣野隆俊委員 広野トミエ委員

※この頃は、各委員の委員手当を出してもらい公民館活動を実施していた。

福 島 民 報
1993年(平成5年)10月4日(月曜日)
(B14)

細川首相 冷害視察で初来県

青立ちの水田で身をかがめ、不稔の穂をかざしながら被害の説明を聴く細川首相—川俣町山木屋

「想像以上の被害」

天災融資法早期発動を約束

川俣・福島

福 島 民 報

発行所 福島市大田町13-14 (郵便番号500)
 社 庫 福島市山一115番
 編集代表 0245-31-1111
 電話代表 0245-31-1165, 31-1153
 編集 0245-31-1166, 31-1178
 © 福島民報社 1963

うまさバツガン!

Mt. Seven
ハイセブン
カッブ

ぎょう24ページ
 9日から 乗世界
 秋彩る歌 掃れる魂
 佐藤が運

平成5年10月4日(月) 福島民報新聞

細川首相が山木屋の不稔の穂を確認
 不稔率96% ほぼ皆無

第30回記念

秋季球技大会



期 日 平成7年10月10日(火)
 ※雨天の場合10月22日(日)

会 場 山木屋小、中学校グラウンド
 体 育 館

主 催 第30回記念秋季球技大会実行委員会

主 管 山木屋体育振興会 (会長 嶋原 俊雄)

共 催 山木屋公民館 (館長 菅野 佐市)
 山木屋地区自治会 (会長 菅野 栄太郎)

後 援 川俣町教育委員会
 川俣町体育協会
 福島民報社 福島民友新聞社
 福島テレビ NHK福島放送局
 ラジオ福島 テレビユー福島

協 力 山木屋地区婦人会

(順不同)



表 紙

6、六代目 大内 佐市 館長時代
 平成7年度

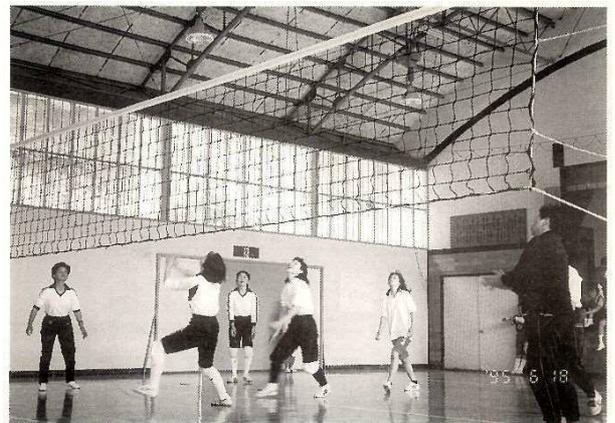
○第30回記念秋季球技大会
 平成7年10月10日

(大会資料より) ※実行委員会を結成して開催

主 管 山木屋体育振興会 (会長 嶋原 俊雄)
 共 催 山木屋公民館 (館長 菅野 佐市)
 山木屋地区自治会 (会長 菅野 栄太郎)



裏表紙うらのイラスト 遠藤恵美主事作



裏表紙の写真

春、秋に開催されていた球技大会は、老若男女、上手もヘタも関係なくの参加でした。
 新しいお嫁さん、生まれた赤ちゃん、学校終わった息子、帰って来た娘などの地域デビューの場でもありました。(聞き取り)

あ い さ つ

山木屋体育振興会長 第30回記念大会会長 鳴原俊雄

ここに第30回記念秋季球技大会を迎えるにあたり、会を代表し一言ご挨拶申し上げます。

近年、健康づくりの気運とともに、地区民総参加の体育行事の重要性は、益々高まりを見せている今日この頃であります。当山木屋地区にありましては、多くの先人の方々の先見と多大なご尽力のもとに、他の地区に例を見ない30回目という大台の大会を迎えることができました。ひとえに、これも関係各位の多大なるご支援があればこそ、深く感謝申し上げます。

私も、第1回大会から参加し、体力の続く限りは参加したいと考えている一人でもあり、これを機会に、さらに多くの方々に楽しんでもらえる体育行事を催し続けたいと考えているところであります。地域に生まれ、大きく成長したこの大会を、さらに充実したものにして後輩に譲りたい、それが今私に与えられた使命と思っています。

今までに本会に与えて下さいましたご厚誼を、変わりませずお与え下さる様お願いいたし、今後とも、皆様方に愛し続けていただける体育振興会である事をお約束し、ご挨拶といたします。

山木屋公民館長 大内佐市

山木屋地区球技大会も今回第30回と記念すべき節目を迎えられましたこと皆さんと共に祝い申し上げます。ここにご挨拶を申し上げることの出来事、私には大変光栄なことと存じておる次第です。

聞き及びますと山木屋地区球技大会の発足は、町各地区のトップを切って力強く各種スポーツの向上を計り、地域の発展を目指して今日へと導かれました先人の方々の業績に対し、心から敬意を表するものであります。

そして先人の意志と業績を継がれまして地区の方々一体となって活動を続けてこられました成果は大いなるものがあると言わなければなりません。体育振興会の発展ぶりは各種スポーツを通し親と子のふれあいを通し社会づくりと地域活性化に努められていることに敬服しているものでございます。

ことスピードスケートに関して其の活躍振りは毎年の如く今や内外に其の名をとどめられておりますこと周知の通りでございます。ついこの度第24回町総合体育大会に併せてスポーツ活躍をたたえる各分野での表彰がありまして、山木屋で優秀選手賞(スケート)として13名の方々が受賞されまして誠にめでたうございます。

私こと初めてのことで公民館活動についてももとより浅学の身で何卒ご理解とご協力の程をお願い申し上げます。本大会も益々の発展を心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

山木屋地区自治会長 菅野 栄太郎

第50回福島国体の年に、我が山木屋地区の秋季球技大会が30回の記念大会を迎えるにあたり、最初にお祝いの言葉を申し上げます。

一昔10年と申します。その3倍の30年間一回の休みなく続き、しかも年々盛んになり、今では山木屋地区を挙げてのスポーツの祭りとして地区の皆さんに期待され親しまれる行事の一つになって参りました。

大会は一日で終わります。しかし、この中にはすばらしい意味があるのではないかと思います。その一つには、各区の皆さんが一つの心になってプレーする事によって生じる友愛と部落一丸となる団結心です。二つには、心に蘇る競争心です。競争心こそが明日への働きの糧になるのではないかと思います。そして活性化につながる村おこしの源泉として、30年の歴史の上に一年一年50周年に向けて歴史が積み重ねられていく事と思います。

球技大会を主催する皆様と、大会を支えて下さる皆様のご苦勞に感謝し、ご挨拶いたします。

30回大会を迎えた歴史の重み 米倉 隆

標高500メートルの大地に展開する山木屋の農業、高冷地克服と恵まれた立地条件を生かした適地適作によって経営を回ることが当地の農業振興の課題でした。

その為にもスポーツによって山木屋の人々の心をひとつにして『和』を大切にする里づくりを合言葉に、当時分館長のヒゲさんの愛称で親しまれた三浦義位さんが提案した本大会30回の記念大会を迎えた訳ですが、長い道のりだったと振り返ると同時にもう30回になったのかと思うのも事実です。それは5区部落の渡辺直一君のように第1回の大会から出場し今でも現役として活躍している何人もの選手がいるからです。第1回大会開催にお骨折りいただいた当時分館主事で山木屋中学校教頭の遠藤一男先生にお手伝いし、その後の大会にも微力でありましたが携わってきました。

私にとって30回記念大会は感無量なるものがあります。ことに本大会の歴史の中で第2次構造改善事業では基幹作目の一つに葉タバコを選び心をひとつにしてこの事業を成功させ、今では県下有数の産地となっている事についてもその役割が大きかったのではないかと自負しているところです。何回目の大会だったか佐藤新一さんが分館長のとき川俣高校のグラウンドと体育館を借りて開催した時はやがて山木屋でもこの様に広いところで無理のない日程でのびのびと必ず大会をやりたいものと思いました。

今年は小学校の改築が進められており、次の大会は広いグラウンドで開催できそうです。更に新しい歴史のスタートとなる訳ですから長く続くよう期待いたします。

かつてヒゲの三浦さんが第3回と第5回目の大会の時に一つの山がありそれを乗り越えたと長く続くもんだ。若い者の責任で山木屋地区の振興とこの大会は不滅のものとして長く続けるようにとの言葉を今思い出しています。

川俣町のスポーツ大会で一番歴史の長い本大会、益々のご隆盛を心よりお祈りいたします。

7、七代目 菅野 栄太郎 館長時代

平成8年度 ～ 平成21年度

さなぶりまつり (昭和61年～)

佐藤新一館長時代、昭和50年代から続いていた芸能まつり。広野隆俊館長時代、住民避難により一時中断したが会場を借りて再開。その後、敬老会と合わせて開催することになった。

主催 さなぶりまつり実行委員会

共催 公民館、自治会、婦人会、参加団体、有志など

日程 6月 下旬

初代実行委員長 菅野助治氏

回	年代	場所等
その昔	昭和50年代	山木屋中学校体育館、改善センター
第1～11回	昭和61年～平成8年	川俣町生活改善センター
第12～23回	平成9年～20年	山木屋小学校体育館
第24～25回	平成21年、22年	川俣町生活改善センター
第26～28回	平成23年、24年	住民避難により延期
第29回	平成28年	福沢多目的集会所
	平成29年	川俣町生活改善センター
	平成29年	諸事情により延期
第30～31回	平成30年、令和元年	山木屋公民館（敬老会終了後） （敬老会と合わせて開催）
次は、第32回	令和2年、3年	コロナ蔓延防止対策 延期

「自分たちの祭りを、じぶんたちの手で」

出演者募集、会場準備、音響、照明、などなど全て実行委員会で賄った。お昼をまたいで開催していた時は、手作りのおふかしを婦人会が準備して来場者に配ったこともあった。大正琴の演奏をはじめに、合唱やダンス、カラオケに民謡、日本舞踊に和太鼓演奏と盛沢山であった。

早苗饗（さなぶり）は、田植えの終了後に行われる田の神を送る神事。神が植え付けの終わりを見届け、天に昇り買えるものとされる・・・（広辞苑より）

第15回 さなぶりまつり



日時 平成12年6月18日（日）
午前10時 開演

場所 山木屋小学校体育館

主催 さなぶりまつり実行委員会

共催 山木屋公民館
山木屋自治会

第15回プログラム表紙



山木屋太鼓クラブ



初代委員長 菅野助治さん



美良会 三人娘



いずみ会の皆様



澄美れ会先生



紺野正壽さんのマジックショー



JA女性部大正琴の演奏



さなぶりの前身と言われる「民謡温習発表会」の様子 昭和50年代



〇すずらん文化祭

(昭和56年～平成22年)

主催 すずらん文化祭実行委員会
 自治会、公民館、婦人会、青少年育成協議会、JA、JA
 女性部、交通安全母の会、有志などで、実行委員会を構成



品評会に出品した葉タバコ



農の生花 JA女性部



上 いかポップ焼き
 左 青少年育成会標語表彰

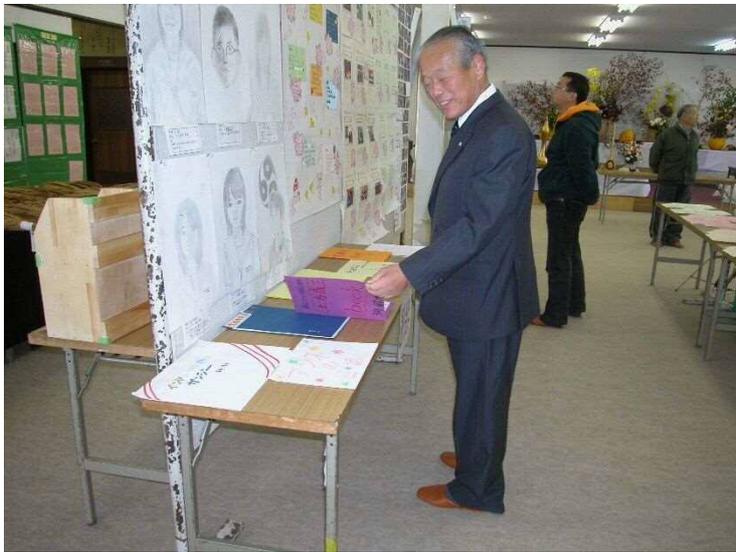
第1回が昭和56年佐藤新一館長時代とされているが、それ以前に、何年続くかわからないので回数は数えないで文化展を催していた。前日から作品展示、高額作品の盗難防止にと泊り込みで準備をしたこともあった。(聞き取り)

地区民の作品の他、学校生徒の作品展示、野菜の品評会、たばこの品評会、手作りまんじゅうや、野菜、手作り小物の販売、手打ちそば屋や、ピザ作り体験などが行われた。また、企画を練り広く呼びかけ物品を集めて開催した時もあった。

同時に、青少年育成会で募集した標語の表彰があり、入賞作品は看板が作られ地区内各地に立てられた。震災以降、休止している。



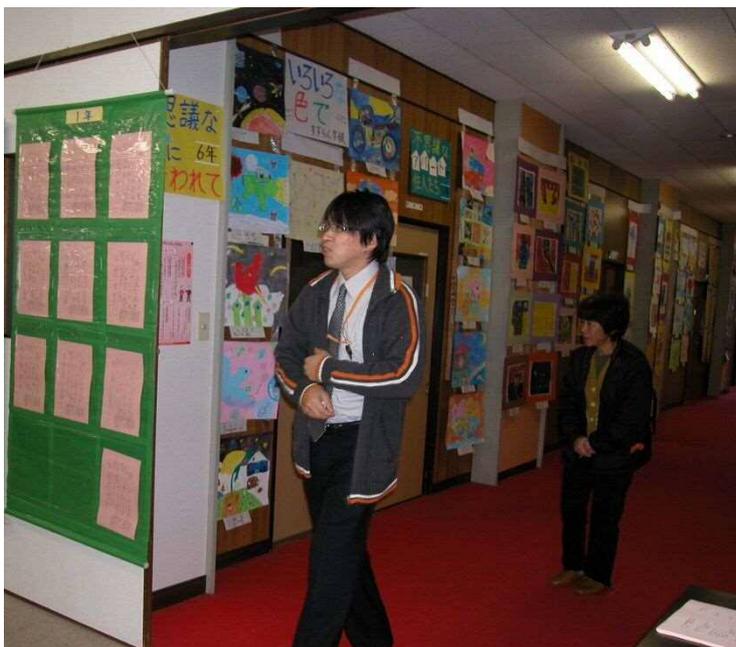
企画展示 「帯」 (平成18年)



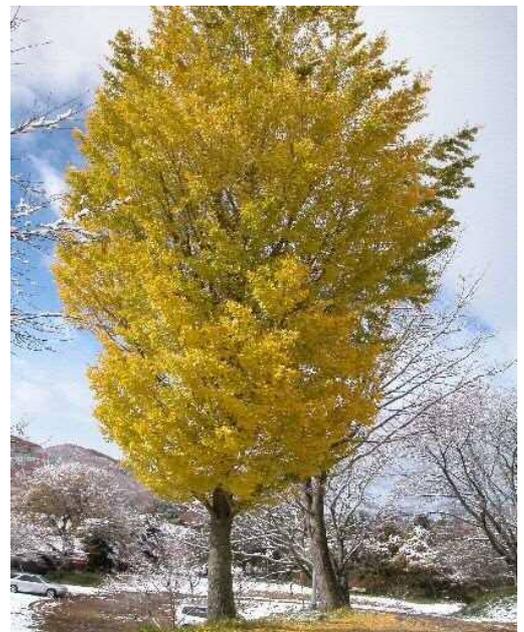
古川町長も来館



企画展示「昔の農機具」 (平成21年)



廊下にも作品が展示された



文化祭の頃は、いつもイチョウが色づいてきれいだが、一気に寒くなって初雪が降ることもよくあった。以前は大きな銀杏ができていたが、近頃は年を取ったのか、実が小さい。

○山木屋夏祭り

(平成16年～)

主催 山木屋地区自治会

共催 山木屋公民館

冊子「山木屋の盆踊り」より抜粋

元々各部落での盆踊りが盛んであったが、徐々に休止や自然消滅が相次ぎ、盆踊りが無くなってしまっただけだった。そこで四区の嶋原俊雄氏を中心に平成8年「やぐら会」を結成し、山木屋の盆踊りの唄、笛、太鼓の継承に努めた。が、役員不足等により運営が厳しくなっていた。そこで、地域全体の盆踊りとして末永く継続していくために山木屋地区自治会の「山木屋夏祭り」のなかに「盆踊り」を組み込むことが提案され、やぐら会は解散した。

※「やぐら会」の盆踊りは、山木屋小学校で開催した。

※毎年 8月15日に開催

回	年代	場所等
第1～7回	平成16年～22年	山木屋小学校校庭・体育館
第8～13回	平成23年～28年	農村広場仮設住宅広場
第14回	平成29年	とんやの郷(雨天中止)
第15～16回	平成30年、令和元年	とんやの郷
次は17回	令和2年、3年	コロナ蔓延防止対策 延期



山木屋小学校校庭にて (平成22年)



農村広場仮設住宅広場にて (平成23年)



左
とんやの郷にて
(令和元年)

平成23年8月仮設住宅広場での夏祭りは、各地に散り散りとなっていた地区の方々に会うことができ、遠くに姿を確認できただけでもなにか嬉しい気持ちになった。集うことの良さを実感した。ここ数年コロナウィルス蔓延により数々の集会が中止となっているのが残念だ。



盆踊り練習風景 (平成24年)

「盆踊り練習会」

今現在は笛、太鼓の音を聞けば体が思い出す人が多いのですが、忘れないように公民館で練習会を開催している。避難時は、農村広場仮設住宅の集会所で練習会を開催した。高齢者が多くなっていたが、練習会場が近かったこともあり、踊らなくても盆踊りを見たいと集まる方々もいた。

○山木屋地区敬老会

令和2年～3年	平成30年～令和元年	平成29年	平成23年～28年	平成22年	年代
山木屋地区自治会		山木屋婦人会			主催
新型コロナウイルス感染拡大により、集会せずに、記念品送付		川俣町生活改善センター	中央公民館ホール	川俣町生活改善センター	開催場所 他
山木屋公民館（旧川俣町生活改善センター）敬老会に続いて、さなぶりまつりを開催					



「山木屋こだわり蕎麦倶楽部」の皆さんにも協力して頂きました。



平成19年9月15日 改善センターホールにて恒例、婦人会エプロン隊による合唱



平成26年9月15日 中央公民館ホールにて設営等川俣高等学校の皆さんがお手伝いしてくださった。



平成29年10月8日 改善センターホールにてようやく山木屋で開催。



令和3年9月
記念品発送作業

○山木屋地区大運動会

主催 山木屋体育協会

共催 山木屋公民館

（平成22年）



平成22年 現山木屋小中学校（小塚山9-1）校庭にて

- ・午前中は、小学校・幼稚園の運動会、午後は地区の大運動会を開催。
- ・のちに、午前中にも地区の種目を入れた。
- ・小学校種目は赤白、地区は、上、中、下に分けての対抗戦。
- ・お昼ご飯は、自分の地区の応援席で家族と一緒に食べた。
- ・昼食後の鼓笛パレードで、午後の部が始まった。
- ・中学生は、午前中は授業で、午後から各区の種目に参加した。
- ・最後の対抗リレーは、全世代が出場し、大きな声援が飛び交った。

○新春のつどい

主催 山木屋自治会、協力 山木屋公民館

（平成18年）

平成10年、新春の行事として名刺交換会が行われていたが、諸事情により休止していた。

平成18年、新たに「新春のつどい」として廣野館長が自治会長時代に復活させ開催。次年から新成人を招き、地区皆でお祝いしている。避難中は、町合宿所を借りて開催した。



平成20年 山木屋公民館にて



平成21年
山木屋太鼓の演奏でお祝い



平成20年 新成人のみなさま



田植え



稲刈り

千羽こきなど昔ながらの道具を使って脱穀も体験した。収穫したモチ米は、なかよしフェスティバル（学習発表会）で餅つきをして、皆でおいしくいただいた。

○山木屋小学校 稲作体験

山木屋青少年育成協議会、山木屋公民館、老人クラブ

（平成22年）



講師に阿部靖彦先生を迎え、夏休みの小学校、幼稚園を借用。校庭にシートを敷いて流れ星を数えたり、大砲の様な望遠鏡で土星や、木星を見せていただいたりした。その後、スイカ割り、花火等で夏の一拍二日を楽しんだ。

避難時は、町合宿所を借りて実施した。



○星空観察会

主催 山木屋青少年育成協議会、共催 山木屋公民館

（平成14年～平成28年）

〇子ども居場所事業

学校帰りの子供達が公民館に集った。

(平成16年～平成22年)



モミジの木が遊び場です。



地元のおばあちゃんとお団子づくり

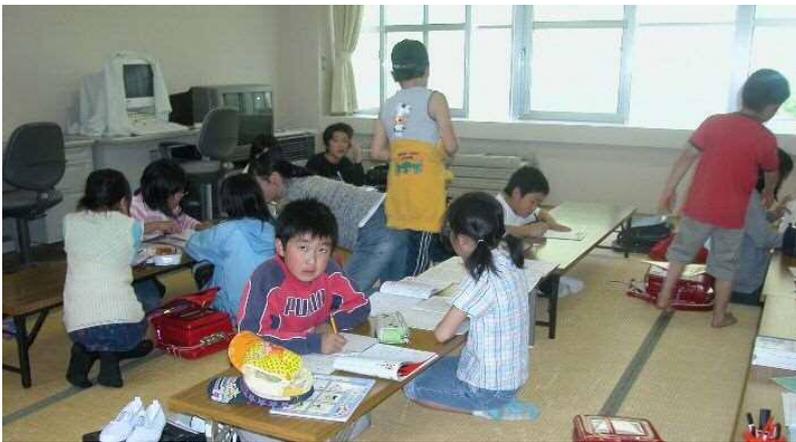


昔の遊びを一緒に

〇放課後子ども教室

(平成19年～平成22年)

町の事業で、各地区の公民館や学校を使用して放課後子ども教室「たのしい教室」が始まった。山木屋では、山木屋幼稚園と小学校校庭、体育館を使用して実施された。日程、連絡、指導員のスケジュール等の管理は、山木屋公民館でおこなった。指導員は、地元の方々をお願いした。



まずは、宿題から（幼稚園和室）



手品教室



柏餅づくり

〇ちびっ子の時間

(平成18年～23年3月)
毎週水曜日



幼稚園入園前のちびっ子が遊べる時間を設けた。季節の行事を楽しんだり、手作りお菓子をちびっ子と一緒に作ったりしながら、子供とお母さん方の交流の場となった。



親子で巻きずし作り



ギンナンひろい

〇高太石山山開き

(平成13年～22年)

主催 山木屋自然愛護会

協力 山木屋自治会 山木屋公民館 消防団 他

「震災の記憶 山木屋では」より抜粋 36頁～



上 山開き前年の登山道整備 (平成12年10月)
下 震災前年の山開き (平成22年5月23日)



もう一度山開きを (山木屋自然愛護会会長 菅野 文夫)
高太石山は、名前の通り御影石の石の山です。
山木屋には山が多いが登山する山がないので、この山に登山道を作ろうと考えた方がおりました。五名の有志を始め、多くの方々の賛同を得ました。山は、国有林であるため、森林組合役員だった故佐藤盛人様にご協力頂き、許可を得て登山道を整備しました。
木の伐採に取り掛かりましたが、それはそれは、山は深く、石が多く、クマザサが広がり迷子になりそうになりながらの大変な苦勞でした。数週間作業を続け、延べ数百人以上の勞力を費やしました。・・・

○講演会・勉強会

○「明るい地域づくり講演会」 飯舘村長 菅野典雄氏

○「水の勉強会」 福島市 中馬教允先生他

○「ゴミはもういらぬ」 福島市 難波謙二先生他

○「山菜の加工と貯蔵法」 福島市 大沢 章先生

○「暮らしの中のキリスト教」 福島市 境野 米子先生
など

○やまきや未来塾

(平成19年～平成20年)

全9回開催。塾生(参加者)の生い立ちや、考え、昔の山木屋、これからの山木屋について考えている事などの話を聞いた。家畜市場の話は1回ではおさまらず2回開催した。家畜市場の話には聞くが、写真が見つからないのは残念。



また、戦争体験者から聞き取りを行い、「戦争体験と地域文化の変貌」としてまとめ、冊子とした。(地域文化資源発掘事業)

○太極拳

平成18年
川俣町 伊藤美也子先生



手先と足先の向き、目線、体重移動と複雑な動きだが、丁寧な指導で徐々に出来るようになっていった。足腰が強くなり、転ばない体を目指す。

○すずらん愛唱会

福島市 伊澤幸子先生

平成18年～



伊澤先生は、ただ歌うだけでなく、声を出す体操や、季節の行事と歌を組み合わせ準備してくださり、楽しい時間を過ごした。



○しめ縄 わら細工教室



平成18年



平成19年

○木工教室 ベンチ作り



平成18年

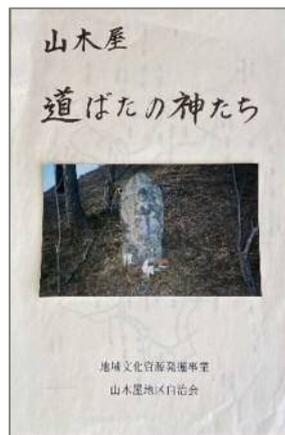
全部で4台作成しました。
ほぞの作り方や、組み方を教えていただいたので、ぐらつかないしっかりしたベンチが出来上がりました。
色は変わりましたが今も健在です。

○襖絵作りと張替え (平成15年)

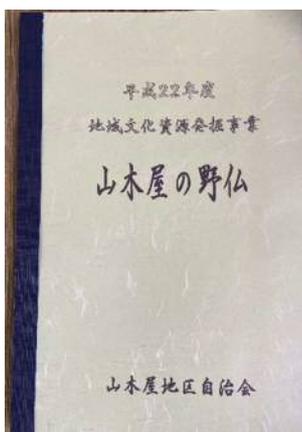
汚れていた襖を張替え、明るくなりました



○道ばたの神たち



○山木屋の野仏



地区内の野仏や無縁仏を調査し、先人の思いに触れながら地区を見渡すとして取り組んだ。各区の協力で情報を得て、平成21年文化祭で写真・地図を展示。緯度経度、建立年等の詳細情報を一冊にまとめた (地域文化資源発掘事業)

車社会になりゆっくり歩くことを忘れてしまっている中で、細い道、太い道にひっそりと立って見守っておられる神様たちをまとめています。
(地域文化資源発掘事業)

○医・食・農講座 (平成18年～21年)

「医・食・農」は、つながっている。
健康に生きるための講座。

本場のキムチ作り 有機農業 なないろの空見学 (飯館)
醤油づくり体験、カルピス作り、チーズ作り、
ピザ作り体験



キムチづくり (平成18年)



醤油づくり (平成18年)



チーズづくり (平成18年)



有機農業見学 なないろの空
ピザ作り体験 (平成21年)

○エゴマの栽培と搾油



エゴマ研修会 (平成19年)
エゴマの会 村上様宅



平成18年から、とても体に良いと言われるエゴマの栽培を広め、エゴマの会の村上様にお世話になりながら、栽培、集荷、搾油を行った。平成18年約126kgから始まり、平成22年約370kgと栽培面積、収穫量を増やしていったが、震災・原発事故・放射能汚染・避難により終了となってしまった。

○陶芸・土探しからの陶芸
 (平成20年～22年)



陶芸教室 会田恵先生 (霊山町) 平成20年



米倉牧場で野焼き



土探し



水篩(すいひ)作業



無事焼き上がりました。



タケノコやピザも焼き上がりました。

ウォーキング・ハイキング (平成21年)

平成21年度から、町の健康づくり推進事業で、楽しく継続できる健康づくりを目標に、町内各公民館で健康ウォーキング教室が取り入れられた。



○7区～5区 (平成21年6月13日)
たばこ畑を眺めながら。



菅野昭八さん宅でさつきを見せて頂いた。



○国見山 (平成21年12月5日) 遠くに火力発電所が見えました。



○米倉牧場

(平成20年11月15日)

牛がゆっくり草を食べている放牧地を横切って、秋葉神社、戸草の神様を回りました。



○9区～羽附

(平成21年9月19日)

9区集会所を出発



アケビがたわわになっていました。

8、八代目 広野 隆俊 館長時代

平成22年度～令和3年度

菅野栄太郎館長時代に引き続きウォーキングやハイキング、卓球、グラウンドゴルフ、吹矢と、健康維持を目的とした事業を多く取り入れた。

〇ウォーキング・ハイキング



〇小島公民館から花工房まで（平成24年11月15日）
橋の途中で休憩中。



〇布引山（平成25年5月20日）川俣小学校から布引山に登り、小島公民館へ山頂で一服。小島公民館までは長ーい下り。よく歩きました。



〇山木屋まで行こう！（平成27年10月18日）小綱木公民館～八坂神社+バスで山木屋地内めぐり完成したトンネルを通り、新しい歩道を安全にウォーキングしました。ゴールの八坂神社でクイズ出題。正解者への賞品は、広野館長が準備しました。その後、町のバスで山木屋地内をめぐり、震災後の各地区の様子を見てまわりました。



○日山（平成28年10月20日）
岩代のキャンプ場側から登りました。



○信夫山（平成30年9月15日）
信夫山は、山だった。



○裏磐梯（平成26年11月6日）五色沼をめぐった後、裏磐梯休暇村にて
「NPO法人日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト」の「東北応援プロジェクト」で、
田部井淳子さんとウォーキング。田部井さんからお漬物や、明るいお声掛けをいただき、楽し
い時間をすごさせていただきました。（裏磐梯、三春の桜、片曾山）
平成28年10月20日 残念ながらお亡くなりになりました。が、ちょうどその日その
時、公民館主催の日山登山で、皆で山を楽しんでおりました。
ご冥福をお祈りします。

○戸草から秋葉森山

（令和1年11月15日）

秋晴れの中、農道を通っ
て3区から4区
ゴールの菅野様宅でアン
スリウムをいただきました。



○桜ウォーキング（令和3年4月17日）
桜の開花が早まり、一週間前に予定変更し
ました。

○第29回すずらん文化祭

(平成22年)



企画展示 「家紋」 (平成22年)

地区内各区のご協力により、ほぼ全戸の家紋を調査し、分類した。
一般の家紋の情報にないものは、墓石を確認し、のちに「山木屋の家紋」として一冊にまとめた。

第29回 **すずらん文化祭**
 主催: すずらん文化祭実行委員会
 11月3日(水)文化の日
 10時~3時
 場所: 山木屋公民館

◎企画展示
家紋 KA MON come on!

◎体験
 ピザ窯がやってきました!
 地元素材で **ピザ作り**

◎出店
 ・お蕎麦屋さん
 ・お菓子いろいろ
 ・セルフ喫茶コーナー
 など

◎展示
 ・幼小中学生の作品
 ・地域の皆々様の作品
 ・JA女性部作品
 ・たばこ品評会作品展示
 など

◎五感活用
目方でドン!
 「かぼちゃに乗った美女」の合計体重を当てましょう。
 会場設置の投票用紙にご記入の上、ご投票ください。
豪華賞品 が当たります!
 *当選者発表 14:45~

◎ビデオ上映
 「青少年の主張大会」の様子
 「さなぶりまつり」の様子 など
育成会標語・表彰式
 13:00~ ホールにて



ピザ窯



目方でドン! のカボチャ

育成会標語 入賞者

○写真展 (平成24年11月)

山木屋地区 震災からの記録

「嗚呼 わがふるさと」

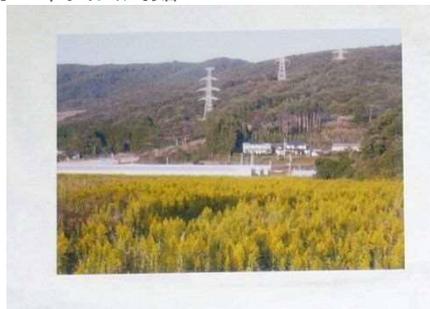
地震発生から、避難、住民がいなくなった地区の状態、避難先での住民の様子、学校は、幼稚園は、三匹獅子舞は、山木屋太鼓は：震災から平成24年までの写真記録を作成。川俣町文化祭 ロビーに写真、資料を展示のちに、一冊にまとめた。



川俣町文化祭での展示 中央公民館ロビー



放射性物質拡散のデーター



セイタカアワダチソウで覆われた

○山木屋写真展 (令和元年10月)



中学校星鈴祭時体育館に展示

写真展示作品を呼びかけたところ、貴重な写真をたくさん提供くださり、会場いっぱいになりました。星鈴祭終了後、公民館ホールに会場を移し、展示して多くの人に見て頂いた。



○山木屋作品展 (令和3年11月)

休止している文化祭に代わって開催。
地域の皆様の作品のほかに、時の流れを対比させた写真を展示



○タブレット・スマホ教室 (町情報システム係の事業)

世の中の変化に対応できるように開催



平成29年1月 仮設集会所



令和3年11月 山木屋公民館

○自分史づくり



平成25年1月 仮設集会所

自分の歴史を一冊の本にする。
編集の仕方、製本の仕方を教わった。

○世代間交流 (平成29年～)

山木屋小学校、中学校生徒との交流
 避難解除後、バス通学となり、学校には通学しているが、地区
 住民と接する機会がなくなっていた。が、いろいろなスポーツ、芋
 煮会、文化祭などで、交流の機会を作っている。



吹矢交流会 (小学生) 平成30年12月

グラウンドゴルフ交流会
 (小学生) 平成30年11月



笑顔満開プロジェクト
 山木屋かるた (中学生)
 平成30年10月



星鈴祭でグラウンドゴルフ
 (中学生) 平成30年10月



公民館で卓球交流 (小学生)
 平成31年3月

このあと、小学生が、公民館玄関の
 掃除とプランターのペンキ塗りをして
 くださった。



第3回 地区公民館スポーツ吹矢交流大会参加
平成27年7月4日 福沢多目的集会所で練習していた。



第5回 地区公民館スポーツ吹矢交流大会参加
平成29年6月25日 3月31日避難解除となり山木屋に戻ったが、まだ山木屋公民館が使用できず、福沢多目的集会所まで行って練習をして大会に臨んだ。



第4回 かわまたスポーツクラブスポーツ吹矢交流大会参加
平成30年10月12日

・練習 毎週月曜日
・大会 町内公民館大会、吹矢協会、老人クラブ大会等
に出場。

○スポーツウエルネス吹矢 (平成30年〜)
町スポーツウエルネス吹矢協会の勧めから始まった。
腹式呼吸、吹矢呼吸の練習から始まる。



山木屋公民館での練習風景

〇グラウンドゴルフ (平成22年〜)

練習 4月〜11月 火・木・土 練習会を開催



第1回公民館長杯グラウンドゴルフ大会 27名参加 平成22年11月14日



第4回大会 羽山の森美術館(福沢)で開催 平成25年11月16日





第10回大会 山木屋小学校校庭で開催 令和元年10月31日



水分補給はスイカ

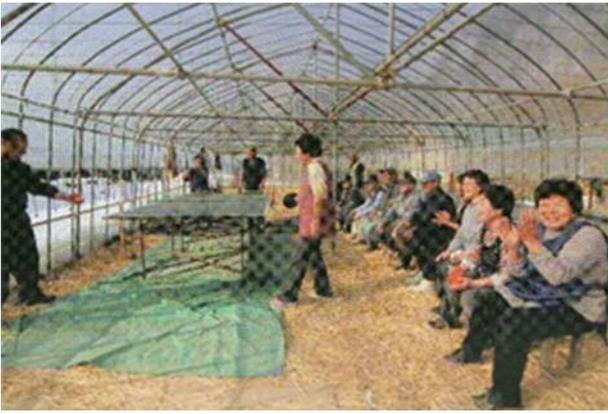


第12回公民館長杯グラウンドゴルフ大会 21名参加 令和3年10月30日

・第1回大会と会場は同じだが、校舎、体育館は解体されてなくなっている。

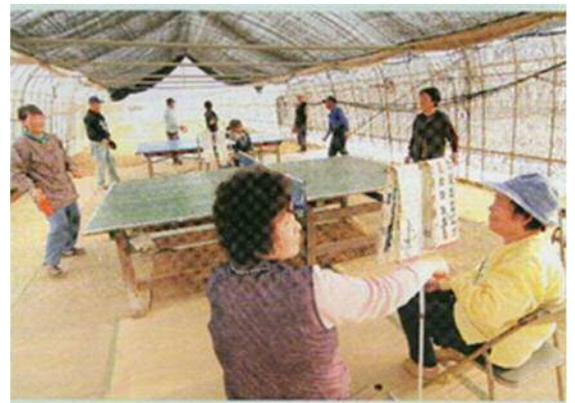
	開催日	総合優勝	優勝者 (男子)	優勝者 (女子)	場所
第1回	平成22年11月14日	佐藤 公生	佐藤 公生	菅野 トミ子	山木屋中学校校庭
第2回	平成23年11月10日	鈴木 征一	鈴木 征一	菅野 トミ子	羽山の森美術館グラウンド
第3回	平成24年11月19日	高橋 勲	高橋 勲	菅野 トミ子	羽山の森美術館グラウンド
第4回	平成25年11月16日	渡辺 直一	渡辺 直一	菅野 トミ子	羽山の森美術館グラウンド
第5回	平成26年11月8日	佐久間卯吉	佐久間卯吉	菅野 澄江	羽山の森美術館グラウンド
第6回	平成27年11月17日	菅野 俊彦	菅野 俊彦	菅野 トミ子	羽山の森美術館グラウンド
第7回	平成28年11月8日	佐藤 孝子	渡辺 直一	佐藤 孝子	羽山の森美術館グラウンド
第8回	平成29年10月19日	(雨天中止 町体育館サブアリーナで 卓球練習)			
第9回	平成30年10月30日	鈴木 征一	鈴木 征一	佐藤 孝子	山木屋小学校校庭
第10回	令和元年10月31日	佐久間フミ子	佐久間正吉	佐久間フミ子	山木屋小学校校庭
第11回	令和2年10月29日	渡辺 直一	渡辺 直一	佐藤 孝子	旧山木屋中学校跡地
第12回	令和3年10月30日	渡辺 直一	渡辺 直一	佐藤 孝子	旧山木屋中学校跡地

○卓球練習
(平成21年)



○ビニールハウスでの卓球練習

上方部・天王クラブの皆さんは廣野隆俊館長宅のビニールハウスを使用して行い、下方部では、あけぼのクラブの皆さんが渡辺福七様宅のビニールハウスを借りて練習を行っていた。寒い冬の時期であったが、経験者もそうでない人も体が温まる手軽な運動なので、皆楽しめた。当時は、「パイプハウス卓球」と話題になった。



○練習会 (平成23年1月、2月)

講師を呼んで、基礎からの卓球練習会を開催。子供から大人まで参加者多数
山木屋中学校 体育館





「女子の部」 決勝



「学生の部」があった

卓球大会

(平成23年)



第1回大会 平成23年2月27日 山木屋中学校 体育館 (反省会は公民館)



第11回大会 令和4年3月12日 山木屋公民館にて



持ち回りのトロフィー

歴代優勝者

	開催日	西暦	優勝者 (男子)	優勝者 (女子)	場所
第1回	平成23年2月27日	2011年	渡辺 義明	高橋 キミエ	山木屋中学校
第2回	平成24年2月26日	2012年	渡辺 義明	高橋 キミエ	川俣町町体育館
第3回	平成25年2月23日	2013年	渡辺 義明	高橋 キミエ	川俣町町体育館
第4回	平成26年3月15日	2014年	渡辺 義明	高橋 キミエ	川俣町町体育館
第5回	平成27年2月26日	2015年	渡辺 義明	佐久間 直子	川俣町町体育館
第6回	平成28年2月28日	2016年	菅野 博治	広野 ミネ子	鶴沢公民館
第7回	平成29年3月4日	2017年	菅野 典保	菅野 みよ子	鶴沢公民館
第8回	平成30年2月25日	2018年	菅野 典保	菅野 みよ子	山木屋公民館
第9回	平成31年3月1日	2019年	菅野 博治	氏家 令子	山木屋公民館
中止	令和2年	2020年	(コロナウィルス感染拡大防止のため中止)		
第10回	令和3年2月26日	2021年	鈴木 征一	広野 ミネ子	山木屋公民館
第11回	令和4年	2022年	菅野 博治	氏家 令子	山木屋公民館

〇そば打ち体験

(平成31年4月22日)

渡辺信二さん、大内秀一さんに講師をお願いした。
 とんやの郷にある検査センターで一般食品等の放射性物質検査をしてもらい、基準値以下であったので、地元産のそば粉を使用した。



のし



練り



水回し



切り



美味しく頂きました



宇宙そば



山木屋在来そば種子が、宇宙に行って帰ってきました。

※東北復興宇宙ミッション

打ち上げ 令和3年6月4日・地球帰還 令和3年7月10日

山木屋在来そばは、強い香りが特徴で、生産量が少なく、これまで「幻のそば」と言われています。

宇宙から帰ってきたそばは、どう変化していくのでしょうか？

それとも、変わらないのでしょうか？

令和3年8月 山木屋の中学生が宇宙そばを栽培し、10月収穫、収穫したそばは、来年度また栽培して増やしていく予定です。

○出版物一覧 (平成22年度～令和3年度)



No.	事業年度/発行年月	題名	備考
①	平成22年度 平成23年(2011年) 3月	山木屋の家紋	第29回すずらん文化祭 企画展示を編集
②	平成24年度 平成24年(2012年)11月	嗚呼、我ふるさと 山木屋地区 震災からの記録	平成24年度 川俣町文化祭 中央公民館に展示写真を編集
③	平成26年度 平成27年(2014年) 3月	写真集 山木屋三匹獅子の歴史	山木屋公民館企画 川俣町 山木屋地区復旧・復興事業 (郷土芸能広報事業)
④	平成29、30年度 平成31年(2018年) 3月	山木屋盆踊りの歴史	山木屋公民館事業
⑤	平成30年、令和元年度 令和2年(2020年) 2月	震災の記憶・山木屋では	山木屋公民館企画 とんやの郷 来場者20万人記念企画
⑥	令和2、3年度 令和4年(2022年) 3月	山木屋公民館のあゆみ	山木屋公民館事業

五、おわりに



福島県公民館連絡協議会からの表彰状



山木屋公民館の看板



令和3年12月 「山木屋こだわり蕎麦クラブ」様から、こね鉢2つ、そば切り包丁1丁が寄贈されました。思いおこすと蕎麦クラブ様には、震災前は、敬老会、文化祭、新年会と、一年中お世話になっておりました。

令和3年「山木屋在来そば振興組合」ができて作付面積も拡大し令和4年には10haとなる予定です。

今はコロナウィルス対策で集まって飲食することができませんが、今後、そば打ちの技術を広め、山木屋のそばを皆で美味しく食べられる様にしていきたい。

○編集後記

この「山木屋公民館のあゆみ」の編集をしていて思った事は、登場する人々が、「どこどここのじいさんの若いときで」とか、「ほら、あそこの孫で今はもう大人だわ」と成長していく、生身の人間感がとても面白かった。

また、公民館のあゆみを編集するからお話を聞きたいと尋ねると、あんなことがあった、こんなことがあったと脇道が広がり、それだけで別冊ができそうだった。

それから、「昭和」はつい最近と思っていたが、情報に限られ、頂いた写真は貴重なものとなっている。大切な写真を提供していただき、本当にありがとうございます。逆に、平成二十年を過ぎるとデジタル化された写真情報がありすぎて選ぶのが大変だった。

活動すべてを網羅できたわけではありませんが、近所での茶話の時に、また、今後の公民館活動でのネタ帳として活用できる一冊になったのではないかと思う。

震災、住民避難、コロナウィルス感染対策で「つどう」に制限がかかる、外国では戦争が始まる・・・いろいろありますが、今後も山木屋公民館が「つどい・まなび・むすぶ」場であることは変わらない。

主事 吉村弘子

○ご協力頂いた方々

川俣町中央公民館様

福田公民館長 吉田 文芳様

山木屋中学校長 岩野 政二様

甲2区 三浦 舟一様

甲2区 遠藤 貴美子様

乙2区 遠藤 恵美様

3区 広野 定義様

3区 広野 カツ子様

4区 菅野 ゆき子様

4区 菅野 春男様

4区 大内 孝雄様

5区 菅野 典保様

5区 大内 義隆様

6区 菅野 栄作様

6区 大内 秀一様

6区 紺野 希代司様

7区 菅野 トミ子様

7区 菅野 博様

7区 紺野 アキノ様

7区 嶋原 英雄様

7区 菅野 文夫様

7区 菅野 良弘様

甲8区 佐藤 新一様

甲8区 高橋 正春様

9区 菅野 克朗様

9区 菅野 洋一様

小綱木 菅野 健悦様

○参考・引用資料

・川俣町史 第一巻

・山木屋―教育百年と歴史―(通称 山木屋百年史)

・山木屋小中学校所蔵

昭和三十年五月以降 公民館関係書類綴

・生涯学習研究 e 事典・青年学級の歴史 坂本登氏

・第30回記念秋季球技大会 資料

・第2回川俣町スケート大会 資料

・川俣町の教育 平成元年度～令和3年度

・DVD 「ふるさとの熱い一日」

「山木屋公民館のあゆみ」

昭和・平成・令和 時代を越えて75年

○発行 山木屋公民館

○発行年月 令和四年三月三十一日

○企画・編集 山木屋公民館

館長 廣野 隆俊

副館長 広野 太

主事 吉村 弘子

○協力 山木屋地区自治会

○表紙・題字 遠藤 貴美子様(甲2区)

